

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

2015 年度（平成 27 年度） 事業・決算報告



第1号議案 2015年度活動報告・決算

1、活動のまとめ	… 1
2、平成27年度事業活動実績	
1) 在宅ホスピス支援センター事業（ホスピスボランティア活動）	
①大切な人を亡くした方の集い	… 3
②患者らいぶらり	… 3
③宮崎聞き書き隊	… 4
④看取り寄り添いナース・ボランティア	… 6
⑤緩和ケア病棟園芸ボランティア	… 7
⑤ふらっとカフェ（宮崎県委託事業）	… 7
2) 人材養成のための教育プログラム	
①認定NPO法人取得記念事業「こころゆるゆるコンサート」「からだほぐしワークショップ」	… 11
②市民公開講演会「地域包括ケアって？」	… 13
③ケアする人のためのスキルアップ講座	… 14
④訪問介護職員向けの喀痰吸引等研修（第1・2号研修）	… 16
⑤がん患者・家族のためのサポーター養成研修会（宮崎県委託事業）	… 18
3) エンドオブライフケア支援事業	
①暮らしの保健室	… 19
・ゆりりサロン、めだかの学校、えがおキッチン、お灸教室、	… 20
②よろず相談室	… 23
③かあさんの家事業	… 23
4) 医療・介護保険規定による事業	
①訪問介護ステーションぱりおん	… 27
②居宅支援療養事業所ぱりおん	… 28
③訪問看護ステーションぱりおん	… 28
5) ホームホスピス支援事業	
①日本財団在宅ホスピス実践リーダー養成プログラム	… 30
②ホームホスピス推進委員会⇒一般社団法人全国ホームホスピス協会の設立	… 31
・ホームホスピスの基準、・全国ホームホスピス合同研修会	
6) 情報・広報	
①ニュースレター発行、ホームページ、マスコミなどの紹介、雑誌などへの掲載	… 33
②講師派遣、見学者	… 34
7) 組織運営	
①理事会・総会	… 39
②事務局	… 40
・保健文化賞及び毎日社会福祉顕彰受賞記念祝賀会	

1、活動のまとめ

認定NPO法人としての活動

ホームホスピス宮崎は、2015年3月1日付で宮崎県の認定特定非営利活動法人(認定NPO)になりました。認定NPOの活動に対して寄付をすると、申告によって所得税、法人税、一部自治体の個人住民税、相続税について税制上の優遇措置を受けることができ、最大で寄付金額の4割前後が控除されるというものです。この制度を市民の方々に認知していただき、寄付によって地域の文化を育てていただきたいと、こころゆるゆるコンサートを開きました。

このコンサートは、障害を持っている方々と一般の方々と一緒に参加するコンサートを目指して、実行委員会を開き実施しました。訪問看護ステーションぱりおんの利用者である重心の在宅療養のご家族の方々も実行委員になっていただきました。「いのちにやさしいぼぼねっと」代表の榊原千秋さんのつながりで覚和歌子さんのコンサートが実現し、また、宮崎在住の発達障害の苦悩を乗り越えたピアニスト野田あすかさんとコラボすることができ、感動のステージになりました。多くの方々にコンサートの協賛を募り、HHMの活動を知っていただく機会にもなりました。

暮らしの保健室の役割

「ケアサロン恒久」改め「ゆるりサロン」として新しくなった活動が暮らしの保健室で始まりました。一人暮らしだけれど、どこかに出かける場所があって用事があることが大事で、その場が身近な地域にあり、お昼ご飯を持ち寄って一緒に食べ、遠慮なく言いたいことをおしゃべりすることが、介護予防につながっています。ボランティアの方々と一緒に過ごす時間がまちどうしいのですと言って通って来られ、織物、パッチワーク、折り紙などの手仕事を楽しんでいます。

また、この空間を利用して「えがおキッチン」「お灸教室」「ゆるり短歌教室」が始まりました。また、聞き書き教室やスキルアップ講座など、いろいろな方々の集いの場になり、地域に開かれていることが丸ごとのケアの体制に欠かせない空間になっています。

訪問看護ステーションぱりおんの運営

訪問看護ステーションぱりおんが4月から本格的に始動しました。かあさんの家の方々(医療依存度の高い方や、重度の介護が必要な方、神経難病の方)だけでなく、在宅の特にガン末期の方々、重度心身障碍児の在宅療養のかたがたに対応でき、0歳から在宅看取りまでに対応できる訪問看護の運営を目指しています。

医療的ケアの必要な子どもの突発的な事情に対応して、制度外で暮らしの保健室を利用し一時預かりなどもしました。濃密なケアと細やかな心配りのケアが、地域に少しずつ浸透して、そのことが運営にもつながっていくのではと思っています。

地域包括ケアに向けて

地域包括ケアとは、介護が必要になっても、住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活を送ることができるよう、住まいを中心に医療、介護、予防、生活支援サービスを包括的かつ継続的に提供するシステムと定義しています。全国の地方自治体は、具体的にシステム構築に向けて模索

が始まっています。

11月に厚労省保険局長である唐澤剛さんをお招きして公開フォーラムを開催しました。地域包括ケアの主体は地域住民です。市民が自分たちのまちをどう作るのかを考え、私たちが安心して暮らしていけるまちづくりを進めていくことが重要です。宮崎県、宮崎市など、行政の方々も参加して下さって一緒に考える機会になりました。

「地域」とは、単なる場所を指すのではなく、コミュニティを示していますから、日頃から周りの環境や人と繋がっておくことが大切になります。これから多死社会に向けて、一人暮らしであっても、自分の望むように安心して暮らせる街になるように、かあさんの家のケアの充実と、看取り寄り添いボランティアなどのボランティア活動を進めながら、さらに実践を積み重ねていくことの重要性を認識した一年となりました。

宮崎県に喀たん吸引等研修機関の登録

介護職による喀たん吸引等研修制度が施行され、介護職が「医行為」を行うには資格が必要となりました。しかし、在宅へ訪問するヘルパーや有料老人ホームなどの介護職員はなかなか研修を受ける機会がなく置き去りにされたまま法律が施行されました。これでは、在宅や住宅型有料老人ホームなどでは、医療依存度の高い人が居場所を失いかねません。

そこで、ホームホスピス宮崎は宮崎県に研修機関の登録をして、訪問介護の職員が研修を受けやすくなるように、実学時間を就労後の夜と土日に組み込む講座を開講しました。これに賛同した、実際に指導に当たる看護師や医師、消防署などご協力があり実現できました。

これからの高齢社会において、医療的依存度の高い人の在宅療養が増えてきます。介護職がそんな方々の生活を支える為にスキルアップすることも重要で、この様な事業もホームホスピス宮崎の役割だと考えています。

保健文化賞及び毎日社会福祉顕彰 受賞

第67回保健文化賞は、10月6日帝国ホテルでの授賞式、10月7日天皇皇后両陛下ご拝謁と続きました。この賞は宮崎市の推薦でした。HHMの設立から18年たち、まちづくりとしてホスピスの精神を地域に継続して啓発し、また、ホームホスピスカあさんの家はその実践の場として地域を動かし、それが全国にまで広がっていることを評価されたものでした。


そして、10月26日(月)毎日社会福祉顕彰の授賞式が毎日新聞社本社で行われました。宮崎県からの事業委託「ふらっとカフェ」やがん患者支援ファシリテーター講座、かあさんの家の活動などから、宮崎県の推薦でした。受賞の決定を電話で受けて皆で喜び合いました。

平成28年2月13日、宮崎県知事を始め130名の方の皆さまが、ホテルニューウェルシティ宮崎にて受賞を祝っていただきました。福祉分野では権威とされる二つの賞をダブルで受賞することになりました。これまで支えていただいた皆様やかあさんの家のご遺族の方々から我がことのように喜んでいただいたことが一番嬉しいことでした。この受賞を機に、あらためて「宮崎をホスピスに」の原点に戻り、こころ新たにして活動を進めていきます。

2、平成 27 年度事業活動実績

1) 在宅ホスピス支援センター事業（ホスピスボランティア事業）

事業	事業概要	事業内容と実績
大切な人を亡くした方の集い	期日：毎月第 4 月曜日 午前 10 時～ 場所：日本キリスト 教団宮崎教会 担当：脇坂峰子	◆実施日： 4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 8/24, 9/28, 10/26, 11/23, 12/21(食事会), H27 年1/25, 2/22, 3/28(食事会) 合計 12 日 参加者数 72 名 ◆内容： 出席者は、この 1 年余り変化せず毎回 5、6 人出席です。健康に関わる話になっています。 全くの 1 人暮らしの方は 2 人おります。1 人の食事は余り食が進まない様なので皆と話ながら食べる事も必要かなと思わされています。例年は 12 月に食事会をしています但今年度は 12 月と 3 月の 2 回になりました。 5 月には新しい方が参加されています。ご自身でも自死の会をされている方で、やり方を学びたいとの事で参加されました。参考になったかはわかりませんがご自身には良かった様です。仕事の関係で後は参加されていません。2016 年 4 月の会には参加されました。同じ場所で続けている効果と思われれます。 (脇坂峰子記)
患者らいぶらり	期日：第 1・第 3 木曜日 午後 2 時から 4 時 場所： 古賀総合 HP 中央 4F 病棟 東棟 3F 病棟産婦人科 担当：畠山桂子	◆実施日： 2015：4/2、4/16、5/7、5/21、6/4、6/18、7/3、7/16、8/6、 8/20、9/3、9/17、10/1、10/15、11/5、11/19、12/3、12/17、 2016：1/7、1/21、2/4、2/18、3/3、3/17 合計 24 日 活動延べ人数・・・50 名 ◆貸し出し 中央 4 階内科病棟 利用した人数 520 名 貸し出された冊数 848 冊 産婦人科病棟 利用した人数 303 名 貸し出された冊数 487 冊 総合計 利用者 823 名 貸出冊数 1335 冊

事業	事業概要	事業内容と実績
患者のいきいき	<p>◆ボランティア:8名 島山桂子、黒木洋子、 峰瑞枝、野平トヨ子 矢野小枝子、 吉岡順子、宮本 甲斐けい子</p>	<p>◆返却 中央4階内科病棟 利用した人数 491名 返却された冊数 741冊 産婦人科病棟 利用した人数 294名 返却された冊数 470冊 総利用者 785名 返却された冊数 1211冊</p>  <p>◆利用者が増えていて貸し出す本も多くなっていて、嬉しいことだ。産科やストレス病棟などの利用者など、利用者の幅が広がっている。内科病棟の本棚がもう少しあれば、本も充実させられると思う。産科には固定の書棚があって助かっている。産科の情報には若いボランティアの方のアドバイスで、漫画の情報誌をそろえたら、その貸し出しがとても人気がある。 課題としては、ボランティアの数が足りないことである。若い人で子育てなどの経験がある方のボランティアが参加して下さるとよいなと思っている。</p>
宮崎聞き書き隊	<p>◎聞き書き定例勉強会 期日:毎月第2日曜日 10時~12時 場所: 市民活動センター 担当:井上直敬</p>	<p>◇聞き書き勉強会 ()内は参加者数 4/12 (7) 5/10 (8) 6月:休会 7/12 (12) 8/9 (5) 9/13 (10) 10/4 (6) 11/8 (6) 12/13 (9) 1/17 (7) 2月:(休会) 3/13 (13) 10回実施 延べ参加者数:83名</p> <p>講座を受けたあとを定着した活動に導くために、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能ももっている。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
宮崎聞き書き隊	<p>◎リレー聞き書き 期間:H26/4~H27/3 場所:デイケアかなりあ ハートピア細見クリニック</p> <p>参加ボランティア:6名 廣井寿美子、西川良子 野邊菜々美、峰瑞枝 井上直敬、高橋芳香 續田トミコ</p> <p>◎個別の聞き書き 依頼を受けて聞き書き を実施</p>	<p>◇リレー聞き書き 細見クリニックの‘デイケアかなりあ’で実施されている回想法によるケアに黒子として参加し発せられる言葉をリレー式に拾い集めて各利用者別に一冊の聞き書き本として差し上げている。 <u>28回実施 延べ参加者数38人</u></p> <p>利用者 16名(延べ137回) 冊子 9名(述べ64回分)に冊子を差し上げることが出来た</p> <p>◇個別聞き書き 稲葉 70~80歳代 『言の葉ひろい』 ゆりりサロン 利用者の日常から 80歳代・女性 『あの頃のその時』 80歳代・男性 『世界第二次大戦 体験記』 80歳代・女性 『千人針』</p> <p>井上 70歳代・男性 『大空への憧れ』 終末期のガン患者が語ったこと (完成を待たずに没)</p> <p>入佐 70歳代・女性 『私の人生』 仲間のボランティアが語る人生を聞き書きした</p> <p>◇敬老に日に聞き書きを！ 聞き書きを指導してくださる小田講師の言葉「敬老の日ってなにをすればお年寄りを敬うってことになるか考えてください。その一つはお年寄りに寄り添ってお話を聞いてあげることです」「お年寄りとは話したがっています」という言葉を背景に実施した。 廣井 70歳代・男性 『金婚を迎えての思い出』 夫の聞き書き</p> <p>◇遺稿集作成 故人(かつて聞き書きをさせていただいた)の日記を冊子化してほしいという依頼あり、書き起しから印刷・製本した 野邊菜々美 江藤はるか 井上直敬</p> <p>◇聞き書き講座参加 聞き書きスキルアップ講座 期日:H28年2月14日 市民プラザ4F会議室で実施。 小田先生、天野良平講師を迎える。 県内外から40名の参加者あり。</p> <p>◇その他 3月の勉強会に合わせて映像制作会社、映学社の取材(社会教育プログラム)を受ける。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
看取り寄り添いボランティア・ナース	<p>看取り寄り添いナース 久保野イツ子 本田澄子 入佐典子 雲山良子</p> <p>利用者： 5名 看取り・・・ 3件 見守り・・・2件</p> <p>期間： 7/1～7/7 ・・3時間 7/13～7/15・・・3時間 7/18～7/28・・・11時間 8/4 ・・2時間 9/29～10/13 ・・・17.8時間</p> <p>実施合計時間 <u>36.8時間</u></p> <p>延べ日数 37日</p>	<p>実施場所・・・自宅4件、 介護施設1件</p> <p>昨年の準備期間に、保健所への説明や、地域包括支援センターなどへの広報を行った。看取りの現状は、実際は最後は自宅でと望みながらも、本人の思いが家族に十分伝わっていない、本人が周りに迷惑をかけられないと思っているなどがあげられる。</p> <p>利用者は、看取りの際に家族が関東にいて付き添えないなど、駆け付けるまでの時間に寄り添い、また、亡くなった後のエンゼルケアの後にも家族のそばにいる、そんな支援ができて、安心して大切な家族の最期を迎えることができたことと喜ばれた。</p> <p>また、施設では介護職が看取りの経験がなく、これまで暮らした施設から病院で臨終ということに寂しさを感じていた。ここに、OBナースがよりよいアドバイスすることで、安心して看取ることができ、介護職の達成感にもつながった。</p> <p>数はまだまだ少ないけれど、本当に必要な援助のかたちがある。これには、OBナースのこれまでの仕事における信頼関係があることが大切だと考える。</p>
緩和ケア病棟園芸ボランティア	<p>場所： 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭</p> <p>日時： 第一・第三水曜日 10:00～12:00</p>	<p>◎緩和ケア病棟の庭園の花の管理等</p> <p>◆手順： 1、緩和ケア病棟の受付に挨拶し、受付で鍵を借りる。 2、庭で植物等の手入れをする。 3、ボランティアルームで活動ノートを書き、受付で終了の旨伝え辞す。</p> <p>◆実施日 2015年 5/13、7/1、7/15、8/5、8/19、9/2、10/7、10/21 12/2、12/16、2016年 1/13、2/3、2/17、3/2、3/16</p> <p>計 14日 延べ人数 37名</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">がんサロン（ふらっとカフェ）事業・主催：宮崎県 運営企画：ホームホスピス宮崎</p>	<p>カフェスタッフ： 市原美穂、久保野イツ子、 太田幸子、松井康代（助産師）、緒方道子（呈茶）、 園田清美（看護師） 新坂真由美（アロママッサージ） 日高里美、伊藤千春 （アロマセラピスト） 小倉優子、村中伸子</p> <p>・実施日と利用者数</p> <p>平成 26 年</p> <p>4/8 9 名 5/13 8 名+見学 2 名 6/10 11 名 7/8 11 名 8/12 10 名 9/9 8 名 10/14 11 名 11/11 13 名 12/9 12 名</p> <p>平成 28 年</p> <p>1/13 13 名+薬剤副部長 イーライリリー 2 名 2/10 10 名 3/9 10 名</p> <p>計 12 日 131 名</p>	<p>カフェスタッフは、当日、会議机を動かし、テーブルクロスをかけ、花を飾り、写真を壁に掛け、絵をイーゼルに掛け、音楽を流し、入口にカフェ看板を立てる。コーヒー、紅茶、抹茶、緑茶などの温かい飲み物と、ちょっとしたお茶菓子をを用意する。</p> <p>県内のがんサロンの一覧、医療用ウイッグを取り扱っている美容室などのご案内、闘病記、食事療法、ガイド本、絵本なども用意する。</p> <p>来場者をテーブルに招き、飲み物の注文を訊き、飲み物とお菓子を出し、お話を伺う。簡単なアンケートを記入してもらう。できるだけ、カフェの終わりの時間でスタッフの話し合いの時間を作り、振り返りを共有した。</p> <p>～ふらっとカフェ利用者～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア担当医師、相談支援センターのMSW、病棟看護師なども来訪され、フラットな関係で患者さんも一緒に集う。医師や、連携室の勧めで来られた方もあった。 ・患者さんから、がん患者さん用のウイッグを取り扱っている美容室の情報をもらった。新聞などでは報道されていたが、実際に良い所の情報が得られた。 ・来室の動機は、「何となく」や「お茶が飲みたい」でも、お茶を飲んでお話をすると、表情が明るくなって帰られる。 ・開催日を楽しみに、何回も来られる方もいらっしゃる。 ・県病院には、以前からかかっているが、日にちが合わずに、何か月目かで来られた方がおられた。通院日以外で、わざわざ来られる方は少ないので、常設していると、外来のついでに気軽によることができる。 ・お抹茶が無料でいただけるので、普段お点前をされない方にも喜ばれる。

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="text-align: center;">がんサロン（ふらっとカフェ）事業・主催：宮崎県 運営企画：ホームホスピス宮崎</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県病院の相談室の方は毎回来て下さり、病棟や化学療法中の患者さんに紹介して下さったりしている。緩和ケアの医師や研修医などの来訪や、医師からの紹介もある。 ・ 医療者向けに、県立宮崎病院が開催しているがんの勉強会でも、ふらっとカフェを紹介して下さった。 ・ 薬剤部副部長より、イーライリリーさんの、患者さんやそのご家族が描いた絵や写真の展示の紹介があり、展示をお願いした。 ・ 来訪者は、県病院にかかられている方、他の病院の方、患者さん、ご家族などで、美味しいお茶にホッとされる方に加え、今年度は、アロママッサージに癒され、それを楽しみに来られる方も増えた。自分の事情については、話したくなく、アンケートにも答えたくないが、マッサージだけ受けに来られる患者さんらしき方もあった。 ・ 何回もいらっしゃり、話をする中で、自分の中で現実を受け入れ、どうしていくのかを決定される。また、それを話すことで、安心される。 ・ 相談にと来られる方もあるが、心に溜まったものを話すことで、帰りにはスッキリしたとおっしゃり、表情も明るくなる。 ・ 予約なしで、時間も気にせず、お茶を飲みながらリラックスした空間で、混沌とした頭の中を整理することができる場所を病院内に提供できていることは、他の患者サロンにはない場となっている。 ・ ふらっとカフェにも、患者会やサロンを立ち上げた、これから立ち上げたいという方がいらっしゃる。患者会やサロンの情報を、県のホームページに紹介して下さっているのは有難いことだ。今後も情報を収集したい。 ・ ピアサポートの場では、ある程度自分のことを話したり、自分の考えを話す機会が多くなる。患者経験者は、どうしても自分の体験を話したがったり、自分の成功した方法を教えたがる傾向がある。

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">がんサロン（ふらっとカフェ）事業・主催：宮崎県 運営企画：ホームホスピス宮崎</p>		<p>ふらっとカフェのスタッフとしては、相手の話を聞く時間がほと</p> <p>んどで、相手が話しやすいように促す会話が主となる。研修を受けたら全員がなれるとは限らず、その違いをわきまえスタッフとして活動できる人を確保していくのも今後の課題となる。</p> <p>・院内にはだいぶ周知されるようになってきたが、引き続き宣伝をお願いしたい。</p> <p>また、他の病院でも、サロンの情報を掲示して下さる所が増えたので、そちらにも チラシを配布したいと考えている。</p> <p>自分が癒されたと感じた体験<抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッサージ、ヨガ 美容室の洗髪 お灸 足のマッサージ→心も軽くなった・タッチング 人の手を触る 肩に触れる 手を握る ・手をつなぐだけで癒される ・アロマの香り みかんの香り→懐かしい思い出がよみがえる ・好きな食べ物 美味しい物 温かい飲み物 お酒 実家の母の手料理 ・音楽 落語 映画 ・旅行 波乗り ウォーキング フラダンス 夫との外出 ・植物 植物の成長 自然 景色 星 鳥の声 水の音 四季を感じる ・ペット 動物 孫 赤ちゃん 小さい子 家族からの写真 ・認知症の患者さんの笑顔 子供の笑顔 ・一人じゃない 仲間がいる 聞いてくれるだけで受け入れられた感じがする ・主治医から「ごめんね」と言われた時 ・同じ病気を持った人と状態を話したり、情報を共有する時 ・うまくいかなかった時、間違っていないと肯定してくれる友人の一言 ・結果を求めない時 何も考えなくていいんだよと言われた時 ・共通の話題で理解しあえた時 心が通い合っていると確信した時 ・背中を押してもらった時 ・感謝の言葉をもらった時 家族からの“有難う”の言葉 ・笑い 誰かと一緒に笑いあえた時 ・おしゃべり ・自然体でいること

2) 人材養成のための教育プログラム

① -1 認定NPO法人取得記念「こころゆるゆるコンサート」 ～0歳から100歳までのコンサート～

ホームホスピス宮崎は、宮崎県の認定特定非営利活動法人（認定NPO）になりました。【宮崎県シレイ20190-1599】頂いたご寄付は、申告によって所得税、法人税、一部自治体の個人住民税、相続税について税制上の優遇措置を受けることができ、最大で寄付金額の4割前後が控除されます。寄付文化を進め、知っていただくためにコンサートを企画し、協賛団体を募った。

【開催までのスケジュール】

【実行委員会】6/17、7/22、8/6、9/4、9/15

【開催日時・会場】

平成27年9月27日（日）開場12:30 開演13:30～15:40
メディキット県民文化センター・イベントホール

【入場料】大人2,000円・高校生～20歳未満1,000円・中学生以下無料
療育手帳、障がい者1,2級手帳提示無料(付き添い1人1,000円)

【参加者】 140名

・当日運営ボランティア 26名

【出演】

第1部 野田あすか（ピアニスト）

代表作「手紙 ～小さいころの私へ～」

たくさんの試練を乗り越えて奏でられる「やさしいピアノ」

第2部 覚 和歌子（詩人・音楽家）

代表作「いつも何度でも」（映画千と千尋の神隠し・主題歌）

多くのアーティストの作詞を手がける「つくる」「よむ」「うたう」

佐藤 克彦（ギター）・新井 健太（ベース）



【アンケートより】 アンケート回収59枚

- ・心ゆたかに聴けました。深い愛を感じ、素敵な時間の流れの中で幸せでした。
- ・運動会等と重なり残念でした。子ども達にももっと聴かせたかったです。
- ・誰もが聴ける演奏会で、とても楽しかった。直接心に響く歌と演奏で、心洗われました。
- ・やさしいうたで、気持ちがぼかぼかしました。忘れていた気持ちが呼び起され涙が出ました。
- ・会場で親切に席をすすめてくださった方がいました。ありがとうございます。知的障害のある息子と一緒にきましたが、楽しんでくれたかなあ～！
- ・とてもとても優しくなれました。数年前にこのコンサートを一緒に聴きたい人がいました。
- ・いろんな思いを浮かべながら時間を過ごさせていただきました。この時期にこのコンサートで「ホームホスピス宮崎」を知ることができ、これからの人生にとっても役立つと思います。
- ・障がいって何？とても幸せな気分でした。ありがとうございました。

- ・演奏中に乳幼児の声を「一緒に歌ってくれた」とあすかさんが言ったのに感動的でしたね。
- ・野田あすかさんを初めて知りました。ピアノの響き輝きは、あすかさんの感性そのままだと感動のうちに聴かせていただきました。あすかさんのピアノを聴かせていただいたのは今回で3回目ですが、毎回感動して涙が出ます。語るような音色、表情のある演奏に引き込まれます。
- ・和歌子さんの歌は、1ページ1ページ絵本を見ていくような映像が浮かんできました、のびやかな歌声で耳に優しいものでした。千と千尋の…「いつも何度でも」生の歌は、とてもよかったです。

【協賛団体】 30団体

- ・青木皮膚科・いちほら医院・医療法人耕和会 迫田病院・医療法人三友会 いしかわ内科
- ・医療法人将優会 クリニックうしたに・(株)大進建設・株式会社 ケアフェニックス ・株式会社 ラフターライフ・株式会社レイメイ藤井宮崎・九州保健福祉大学 総合医療専門学校・グリル爛漫 (らんまん)・四季クリニック・すみれ歯科クリニック・ひとえ歯科クリニック・特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター・特定非営利活動法人みやざきママパパ happy・特定非営利活動法人 ゆめ家族「小規模多機能ホームよかよか」・宮崎キネマ館・有限会社サン・グロウ放課後等デイサービス「学遊館つねひさ」・有限会社 はにわ広告事務所・有限会社 ふれあい福祉サービス「サニースマイル」・有限会社 メディフェニックスコーポレーション 薬局つばめファーマシー、居宅介護支援事業所つばめ ・ラポール・ド・クニトミ (フランス料理レストラン)・弁護士法人 松田共同法律事務所・一般社団法人 みやざき公共・協働研究会・石川 充子 (S.S 体操クラブ主宰)・石川 達三 (総合リフォームメンテナンス T.I.S)・塩田 幸代 (かあさんの家 家族会)・前田 水無子 (かあさんの家 家族会)・弘中 信厚 (社会福祉法人 光輪会橘保育園 園長)・二見 志信

①-2からだほぐしワークショップ

期日：平成27年9月26日午後2時から

会場：暮らしの保健室

講師：榊原千秋 (NPO法人ぼぼぼねっと代表)

参加者：20名

重度心身障害を持つ子供とお母さん、

看護学生、ボランティアなどの参加者で、

床に寝そべったりしながら、体を動かすことにより、心もほぐされていった。



②市民公開講演会 まちづくりフォーラム

「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団」からの助成

地域包括ケアってなあに？～住み慣れた地域で最後まで暮らしたい～

【期日】 11月21日（土）18：20 開場 18：45 開演

【会場】 宮崎市民文化センター小ホール

【講師】 唐沢剛（厚生労働省保健局長）

小串輝男（医社団小串医院院長、第2回日本医師会赤ひげ大賞受賞）

【報告】 矢方幸（NPO法人ささえ愛生目台理事長）

「住む人みんなにやさしい地域づくりをめざして」

かあさん劇団・・・「一人暮らしでも大丈夫」

恒久の地域を想定で、「一人暮らしでも大丈夫」の寸劇仕立てで取り組みを発表。

【参加費】 1000 円

【参加者】 160 名

医療と介護だけでは住民患者の生活は立ち行きません。例えば、地域の見守りをもっと密にすれば、認知症になっても出歩いたり、迷子になったら誰かが声をかける。そんなゆるやかに見守るネットワークが地域にあれば、最後まで住み慣れた地域で暮らすことができます。団塊の世代が75歳以上となる2025年をめどに、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていけるように、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現がもとめられています。

そこで、講師に厚生労働省保険局長の“唐澤剛先生”と三方よし研究会代表・小串医院理事長の“小串輝男先生”をお招きしました。唐澤先生には、地域包括ケアシステムの全体像と地域包括ケアシステムを考える視点を一般市民にもわかるようにご講演していただきました。小串先生には、「三方よし」の取組から三方よし研究会の経過、地域包括ケアシステムを絡めた地域連携パス（クリティカルパス）使用のための病院間の連携、多職種連携と在宅看取りの実践例を交えた講演をしていただきました。

その他、地域活動の実践報告を“NPO法人ささえ愛 生目台”に「住む人みんなにやさしい地域づくりをめざして」についての取り組みの実践発表とホームホスピス宮崎の有志で結成した“かあさん劇団”でひとり暮らしの高齢者を在宅医・訪問看護をはじめとする多職種と地域の住民で見守り、支えている実践例を若干のアレンジを加えて寸劇。「ひとり暮らしでも大丈夫！」



③ケアする人のためのスキルアップ講座 2015

第1回 食べられなくなったらどうしますか

期日：7月26日（日）13：00～16：00

会場：暮らしの保健室

講師：花戸貴司先生（東近江市永源寺診療所所長）

花戸先生とご家族を囲んでの昼食会

14時から、スライドを使っての勉強会

参加者：30名

滋賀県東近江市で、地域の様々な人を巻き込んで、生まれそった永源寺地区で最後まで暮らしを支える活動をされている。そして、いつも患者さんに「ごはんが食べられなくなったらどうしますか？」を聞き、人生のしまい方をききながら、在宅での看取りを支える。国森康弘氏の「みとりびと」の写真展を開催したが、その写真のモデルとなった永源寺での看取りを、スライドを使いながらお話しいただいた。在宅医や訪問看護、歯科医、宮崎大学医学性など、多職種の参加者の交流もできた。東近江氏の地域を丸ごとケアの体制は、地域包括ケアシステムのモデルと脚光を浴びている。

第2回 家庭でできる高齢者ソフト食講座

～楽しく、おいしく、安全に食べることは、生きる喜び～

期日：平成27年12月19日（土）10時～14時

会場：宮崎市総合福祉保健センター 調理実習室

講師：黒田留美子

参加費：3000円

参加者：28名（運営スタッフ含む）



《参加者の感想》

- ・初めてのソフト食でしたが、とても美味しくてびっくりしました。食は生活の基本、毎日のことなので、大事にしていきたいと再確認させられました。ありがとうございました。
- ・慣れないながら失敗しながら楽しく美味しくできました。自分でいい加減に切っていたんだなーと思うところがありました。（細かく切る玉ねぎは乳化する）
- ・先生のお話は、食べる方への愛情があふれています。一つ一つの細かいご指導は、いかにおいしく食べやすく食事をしていただくための方法ですね。料理はひと手間が大切ですが、日常の介護もあと一つの手間を惜しまないようにしていきたいと思いました。
- ・介護用ゼラチン寒天初めて知りました。口の中でまとまり飲み込みやすかったです。からあげも調理次第でこんなにやわらかくなるのだと感激しました。もっと色々なメニューが知りたい。
- ・やってみて自分の感覚で大きさや形を決めて作っていることが分かった。失敗して初めて飲みづらい方に合った大きさがあることが分かった。適度の粘り気やまとまりの具合は、食べてみてわかった。これなら、介護用だけに作らなくても家族一緒に食べられると思う。一緒に物を同

じ食卓で食べられるのは、とてもいいことだと思った。

・実際に作ってみると、なんと手のかかるものかと驚きました。

美味しく食べてもらうために色々な工夫を凝らして思いを込めて料理することの大切さを学びました。

・食材の切り方、盛り付け方などとても勉強になった。

からあげは、やわからくてとても美味しかった。

玉ねぎをすごく細かく切らないと焦げが多くなってしまい勉強になった。

・介護食をつくるうえで、誤飲を防ぐ、事故防止、盛り付けなど基本的なことがよくわかった。

そして、何より分量を守ること、素材を知って適宜、工夫すること

・いろんな話を聞き、実習形式でわかりやすかったです。食材の違いで、出来上がりが違うこと、出汁の取り方、大切さ。忘れないうちに家庭で作ってみたい。

・家庭にあるもので作れるソフト食ということで、今後実践していきたい。実際に作ったものを当事者も含めて試食会をし、どのような反応があるのか生の感想を聞いてみたい。



第3回 聞き書き実践教室

「ナラティブケア・人生は物語！」

聞き書きとは、人生の大先輩であるお年寄りの話を聞いて、それを書き留める後世に残すことを言う。傾聴することは、すべてのケアの現場で必要とされること、今回は～聞き書きをケアの現場に活かそう～ということで、看護大学、医学部にも声をかけた。聞き書き実践では、杉本サクヨさんにおいでいただき、海外青年協力隊の第1回生としての活動から、現在のボランティア活動まで、マザーテレサとの思い出も含めて話してもらった。それを小田先生の講義を受けて聞き書きをした。

期日：2016年2月14日（日） 午前10時～午後3時

午前の部・・・聞き書きの基本

午後の部・・・聞き書きをやってみよう

（杉本サクヨさんの話を聞いて書く）

製本教室（天野先生）

会場：宮崎市民プラザ・中会議室

講師：小田豊二（聞き書き作家）

天野良平（金沢大学名誉教授、日本聞き書き学校講師）

話し手：杉本サクヨ氏（宮崎国際ボランティアセンター理事長）

対象者：これまでに聞き書きを実践した人、

または以前に聞き書き講座を受講している方

ケアの現場に従事している人期日：2月14日

参加費：2000円（ワークブック代別）

参加者：40名



第4回 デンマークのケアを学ぶ・ワークショップ ～介護で働く私たち一人一人が環境そのもの～

期日：2016年3月5日（土）13：30～16：00

会場：J Aアズム別館 202号室

参加費：2000円

講師：ヤーンセン・モモヨ（デンマーク認知症コーディネーター）



デンマークの認知症のケアの在り方を、実際にデンマークで指導者として実践しているモモヨさんよりご講義を受けた。グループワーク形式での講義であったが、伝え方がパワフルで、2時間半があつという間だった。認知症をどうとらえるのかも、環境から入る認知症介護は、日本でのケアは・・・と言う前に、改めて介護という仕事の面白さを感じ、力をもらったのではないだろうか。

《参加者の感想》

- ・デンマークへ出かけての研修は難しいし、デンマークではどんなケアがされているのか興味がありました。国の成り立ち（福祉国家）が違うのは、その結果として、行き詰ったときにそれを国民主体で打開していくことにあるようだ。そこに行政の手助けがあり、その結果国も人も豊かになるのだと思う。
- ・参加のきっかけは、ただただデンマークのケアに興味があったことだったのですが、参加して話の内容がとても分かりやすく、どの分野にしても自分の職場を思い起こして考えられたので勉強になりました。改めて介護という仕事の面白さを感じ、明日から頑張ろうとわくわくしてきました。
- ・早速実践します。
- ・地域包括にかかわろうとする職域の一つとして参加しました。デンマークの領域の徹底が印象的。「価値感の共有」がキーだと思いました。

④訪問介護職員向けの喀たん吸引等研修（第1・2号研修）

平成24年4月「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正により、介護福祉士及び一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られているなど一定の条件のもとに、「たんの吸引等」の行為を実施できるようになりました。

これまで介護職員ができなかった喀たん吸引ができることで、患者さんにきめ細やかでかつ迅速な喀たん吸引や経管栄養を提供できるようになります。特に、在宅での療養のサポートをする訪問介護事業所の職員は、研修参加の時間が合わず受講が困難な状態でした。そこで、この研修は、仕事をしながらでも受講しやすい平日の18時半以降、土日祝日の9時から12時の時間帯で集中的に講座を組みました。

これから高齢化が進み、在宅での療養生活に医療的な依存度の高い方も増えていると思われます。高齢者施設などの限られたところしか選択肢がないのではなく、在宅で過ごす方の生活を支える為に、宮崎県内の介護職の方のスキルアップに貢献できることはNPOの役割だ

と思います。

今回の受講生も、宮崎市だけでなく都城市などからも参加され、特に、訪問介護事業所の管理者など、経験と実績を積んだ方の参加が多くかった。仕事が終わってからの受講でハードなスケジュールであったが、真剣で充実した講習となった。座学 50 時間、試験をクリアして実習を受けることで、修了証を交付、宮崎県に登録されることとなります。

【会 場】暮らしの保健室

【受講料】 70,000 円

【期 日】

○座学・・・2016年 2/1、2/4、2/6、2/8、2/10、2/12、2/15、2/17、2/19、2/22、2/24
2/26、2/29、3/2、3/4、3/7、3/9、3/11、3/14、3/16、3/18

計 21 日 座学実時間 50 時間

座学講師：池田ヒトミ、長内さゆり（看護師）、市原美宏（医師）、長友妙子（看護師）、
堤育子（看護師）、救急蘇生法（南消防署）

○演習・・・2016年 3/19、3/20、3/21（3グループに分かれて、9：00～17：00）

《不特定多数の者に対する基本研修（演習）の内容及び回数》

- ・痰の吸引（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部それぞれ5回以上）
- ・経管栄養（胃ろうまたは腸ろう、経鼻、それぞれ5回以上）
- ・救急蘇生法（1回以上）

演習指導：池田ヒトミ、

演習支援者：長友妙子、日高加津子、中村美津子、松浦澄、堤育子、雲山良子、
（看護師・喀たん吸引実務者研修修了者）

○筆記試験・・・2016年3/18＊座学50時間を修了して筆記試験

【研修修了者】 12名

途中病気入院のため2名受講をとりやめたが、あとの12名は、全員合格であった。この基本研修を受けた後、実地研修が必要になる。実際の患者さんに対して、たんの吸引や経管栄養などの行為をそれぞれ20回以上実施することが求められている。

かあさんの家で個別に実地研修を実施する予定である。



⑤がん患者・家族のためのサポーター養成研修会

テーマ：“癒しのコミュニケーション”～アロマセラピーを学びながら～

【期 日】平成 28 年 1 月 31 日(日)10 時～16 時

【会 場】J A アズムホール別館

【講 師】黒岩ゆかり先生（宮崎市郡医師会病院 内科(緩和ケア科長)

日高里美（看護師・鶴田クリニック・AEA J アロマセラピーアドバイザー）

【対象者】平成 22～26 年度宮崎県「がんカウンセラー養成事業」講座修了者、宮崎県内がん診療連携拠点病院などの相談支援センターの相談員、訪問看護看護師、ケアマネジャー、がんサロン、がん患者会運営関係者、がんサロン運営に関心がある医療関係者、がん患者、がん経験者及びその家族等とした。

司会進行：黒岩ゆかり 補助：太田幸子 心ゆるゆる患者サロン相談員。

【内 容】

・テーブルに、テーブルクロスをかけ、音楽を流す。コーヒー、紅茶、緑茶、ポットなどの準備をする。後方には、ディフューザーでアロマの香りを噴霧する。

・1 テーブル6 名、できるだけ知り合いが同じテーブルにつかない様に座る。

・名札に所属と名前を記入、自分の好みの温かい飲み物を取る。

・黒岩ゆかり先生のコミュニケーションについての講義

言語的メッセージと非言語的メッセージがあるが、非言語的な部分(身なり、表情、視線、姿勢、声の調子など)は伝わるものが大きく、7 割を占める。傾聴とは相手が話したいと思っていることを聴く、安心して話せるとしてもらえる。

「具合はどうですか」「これについてはどう思われますか」と開かれた質問をする。共感を表す言葉としては、「おつらそうにみえますけど」「十分頑張っているらしいです」「一緒に頑張っていきましょう」などがある。

沈黙には、強い感情で、それを言葉にできない時、気持ちや考えを整理している時なので、沈黙の後、「どんなことを考えていらっしやったのですか」「どう思っているのですか」と言葉や沈黙の意味を明確にする。サポーターから伝える時は、心配していますということは伝えてよいが、「もっと休みなさいよ」というような断定的は言い方にならないようにする。

癒すは悩み、苦しみを和らげる、治すも含まれる。治すは、正常な状態に戻すこと。不安は、先が見えない時に起こる。闘病記は参考になる。

・日高里美さんより、メディカルアロマセラピーについての講義

医療用としては、フランスで負傷した兵士に施されたのから発展した。エッセンシャルオイルとアロマオイルは違うので注意が必要、エッセンシャルオイルの中でも医療用として使用できるメディカルグレードの物はごくわずか。香りは 0.2 秒で大脳から神経系、ホルモン



系、免疫系まで伝わる。柑橘系は、光毒性があるので、服の下に所につける。 新生児、幼児、お年寄りに使用する時は 100%純粋な精油で、希釈をして使用、使用期限がある。

・日高さんより、アロマハンドトリートメント手技の実演、手元をスクリーンへ実写



グループワークⅠ：自分が癒されたと感じた体験について、一人一人話をしながら、誰かが模造紙に書き留める。一人を残し、他のメンバーは、先ほどと同じテーブルの人とは別になるように席替えをする。テーブルに残った人が、グループワークⅠで話した内容について簡単に話す。他のメンバーも自己紹介を兼ね、前のテーブルでの話を簡単にする。

グループワークⅡ：癒しのコミュニケーションの心得について、一人一人話をしながら、誰かが模造紙に書き留める。最後に、本日の研修で心に残ったこと、印象に残ったことを2枚の付箋に同じことを書き、テーブルの人に紹介する。1枚は、模造紙に貼り、1枚は自分で持ち帰る。

- ・アンケートに記入してもらう。
- ・最後まで受講された方には、宮崎県知事印が押された修了証をお渡しする。
- ・1テーブル6名、知り合いが同じテーブルにつかない様に座る。
- ・名札に所属と名前を記入、自分の好みの温かい飲み物を取る。
- ・理事長の開会の挨拶と、ふらっとカフェの活動の紹介

3) エンドオブライフケア支援事業

【暮らしの保健室】

地域に開放した暮らしの保健室を目指して、

暮らしの保健室で催される内容を、

毎月「暮らしの保健室だより」として発行した。

通年として、「ゆりサロン」月・水 10:00～15:00 が開かれている。

要支援までも行かない一人暮らしの高齢の方や、要介護であっても、デイサービスの無い日など、気軽に出かけられ、そして、そこに行くとなじみの顔があり、楽しみができる。そうすることで、健康が取り戻せたり、認知症などの進行を抑えることができている。

そのほかの行事や会合など、31回、300名を超える方々の利用があった。



《暮らしの保健室利用状況》 「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水 10:00～15:00


4月	28	火	10:00～12:00	橋之元自治会「ふれあい会食会」打合せ
5月	23	土	10:00～17:00	宮崎緩和ケア関連CNS・CNの会
6月	8	月	10:00～12:00	橋之元自治会「ふれあいサロン」打合せ
	17	水	16:00～17:00	こころゆるゆるコンサート実行委員会
7月	22	金	16:00～17:00	こころゆるゆるコンサート実行委員会
	27	日	14:00～16:00	ケアする人のためのスキルアップ講座『ご飯が食べられなくなったらどうしますか?』
8月	6	木	16:00～17:00	こころゆるゆるコンサート実行委員会
	7	金	17:00～22:00	小児イベント 焼き鳥の会
	20	木	11:00～14:30	えがおキッチン
9月	4	金	16:00～17:00	こころゆるゆるコンサート実行委員会
	6	日	13:00～	大切な人を亡くされた方の集い
	15	火	16:00～17:00	こころゆるゆるコンサート実行委員会
	26	土	14:00～15:30	ワークショップ「親子で楽しむこころほぐしからだほぐし」
10月	11	日	10:00～17:00	看護勉強会
	24	土	13:30～15:00	お灸教室
	31	土	10:00～14:00	えがおキッチン
11月	7	土	13:30～15:00	お灸教室
	28	土	8:00～13:00	小戸之橋ストリートフェスティバル参加(赤江小学校)
	29	日	AM	作業療法士研修
12月	5	土	13:30～15:00	お灸教室
	12	土	10:00～14:00	えがおキッチン
	14	月	17:00～20:00	高齢者ソフト食試食会
1月	9	土	13:30～15:00	お灸教室
	19	火	15:00～16:00	受賞記念祝賀会実行委員会
	29	金	16:00～17:00	受賞記念祝賀会実行委員会
2月	1	月	18:30～	介護職員等向け喀痰吸引等研修開講
	10	水	16:00～17:00	受賞記念祝賀会実行委員会
	20	土	13:00～15:00	四つ葉の会子育て講座
	27	土	10:00～14:00	えがおキッチン
3月	1	火	15:30～	宮崎の小児在宅医療を支える会 シンポジウム実行委員会
	29	火	13:30～14:30	こどもスプレーアート教室【馬場一樹(リーダー養成研修生)】

事業	事業概要	事業内容と実績
ゆるりサロン	<p>◎ゆるりサロン</p> <p>開設期日： 月・水曜日（週2） 午前10時～午後3時 場所：暮らしの保健室</p> <p>担当理事： 立川志乃</p> <p>ボランティア： 矢野小枝子、請園宣子、畠山桂子、吉岡順子、南谷</p> <p>手芸教室指導： 三堂悦子（機織り指導）</p> <p>大山さよ子 （パッチワーク指導）</p> <p>佐伯衣江 （タクティールケア）</p> <p>音楽療法： 南正覚文子 毎月第3月曜日</p>  	<p>実施日：（日数） 4月（11日）、5月（8日）、6月（9日）、7月（7日）、 8月（7日）、9月（8日）、10月（8日）、11月（6日）、 12月（8日）、平成26年1月（6日）、2月（7日）、 3月（9日） <u>合計94日</u></p> <p>延べ利用者：（参加人数） 4月（41名）、5月（31名）、6月（34名）、7月（34名）、 8月（38名）、9月（31名）、10月（33名）、11月（35名）、 12月（29名）、平成26年1月（22名）2月（42名）、3月 （28名） <u>合計398名</u></p> <p>支えるボランティア数： 4月（46名）、5月（30名）、6月（55名）、7月（43名）、 8月（48名）、9月（41名）、10月（36名）、11月（39名）、 12月（36名）、平成26年1月（33名）、2月（45名）、3 月（44名） <u>合計496名</u></p> <p>内容： 昼食をみんなで一緒に頂き、楽しいおしゃべり場を作っている。日常の健康管理を行い、パッチワークや編み物、機織りなど手仕事を楽しんでいる。タクティールケアは、心も体も癒され、利用者から大好評です。また、音楽療法も、大きな声を出して歌い、楽器を奏でて楽しんでいる。健康体操も大変好評である。</p> <p>6/17 音楽ボランティア「パパイヤ・マンゴークラブ」（4名） 7/29 七夕まつり、 フラダンスを楽しむ「サンレディース（6名）」 8/24 鹿児島県肝付町より見学（7名）ランチを一緒に歓談 9/28 「うんちっちの講演」榊原千秋先生 10/7 パパイヤ・マンゴークラブ 10/14 コンサート（野辺・おなり） 11/28 城ヶ崎フェスタ（小戸橋イベント）参加 12/21 クリスマスパーティ 1/18 ベリーダンス（3名） 1/25 三社詣り 2/10 3/7 リンパマッサージ（佐土原スポーツクラブ）</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
メダカの学校	<p>『えがおキッチン』 講師：松井康代 (助産師・調理師) 会場：暮らしの保健室</p>  <p>『セルフケアのための お灸教室』 講師：園田清美 (看護師・鍼灸師) 会場：暮らしの保健室</p>  	<p>スローフードで、無農薬野菜や無添加乗りに調味料を使っ ての体に優しい料理を学びます。講師の松井先生は、スローフ ードコーディネーターの資格保持者です。</p> <p>① 8月20日(木) 11:00~14:30 14名 チキンカレー、おからの簡単サラダ、クッキー、ジャム</p> <p>② 10月31日(土) 10:00~15:00 16名 キッシュ、パスタ、ジャーマンポテト、カボチャグラタン、 ゼリーカップケーキ</p> <p>③ 12月12日(土) 10:00~15:00 11名 カナッペ、パスタ、ポテトサラダ、チキンライス、から揚げ、 ミネストローネ、クリスマスケーキ</p> <p>④ 2月27日(土) 10:00~15:00 16名 ちらし寿司、押し寿司、大根餅、レンコンサラダ、春の吸い物、 おひなさまクレープ、ベリータルト</p>   <p>【実施日】月一回、第一土曜日 13:30~15:00 10/24(6)、11/7(5)、12/5(13)、1/9(10) 10/24 お灸教室「入門編」、11/7 お灸教室「入門編」 12/5 お灸教室「入門編」&「応用編」 1/9 お灸教室「入門編」&「肩こり」 リピーターの方には棒灸体験</p> <p>【参加者】 延べ参加人数 34名 宮崎市内だけでなく、国富、日向からの参加者もありました。 お灸経験のある方は5~6名。セルフケアのお灸を続けたいと いう希望が多く、いつもすぐ定員いっぱいになる人気の教室に なっています。</p> <p>毎回、松井さんの「よもぎスイーツ」が好評で、お茶を飲みな がらほっと知る時間があります。男性のお灸教室も開いたらと 検討しています。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
よろず相談室	<p>よろず相談室</p> <p>相談件数・・・43件</p> <p>市原美穂 久保野イツ子 祐末めぐみ</p>	<p>介護の相談では、施設の選び方を教えてほしいというものや、施設介護の抑制に対する考え方など、切羽詰った相談が多い。最後まで口から食べさせたいという家族の気持ちがあるけれど絶食で食べられないという、ここまでしか私達にはできませんという施設のリスクの課題もある。そのギャップを感じる相談が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人保健施設や病院からの退院後の受け入れ先の相談 ・リスクマネジメント家族の気持ちとのずれ ・施設介護の抑制の問題 ・神経難病に対する相談 ・がんの告知を受けて治療法に関する相談、 ・終末期の家族としての受け入れをどうしたらよいのか ・医療制度改正に伴い、医療依存度の高い患者の退院が早まり、家族の戸惑いに寄り添って話を聞いた。
かあさんの家	<p>◎かあさんの家の運営 統括マネージャー 祐末 めぐみ 平成27年3月31日現在</p> <p>◎かあさんの家・改修 工事 日本財団助成</p>	<p>◎かあさんの家の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した運営を目指す ・研修生の受け入れ ・家族会の開催 <p>◎かあさんの家・改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月見ヶ丘（工期9月から10月） 台所（システムキッチンIHに）、お風呂と脱衣所、バルコニーにお水槽設置等 ・曾師（工期10月から3月） 台所（システムキッチンとIH化）風呂場などの水回り、バルコニー

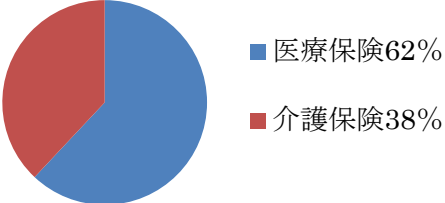
事業	事業概要	事業内容と実績
かあさんの家	<p>かあさんの家・曾師 入居者： 6 名 平均介護度 4. 8</p>	<p><u>☆かあさんの家・曾師</u> 看取り数： 1 名、 新たな入居者： 1 名 気管カニューレと胃瘻 2 名、 認知症とがん 1 名 1 名の方を看取った。 CV ポートを設置され高カロリー栄養にて過ごされていたが廃用性症候群の進行で嚥下機能低下で、徐々に離床を促し、口腔ケアを行いながら口から食べられるようになられ、通所介護に週 2 回出かけられるようにまでなっていた。 ご家族、 本人の意思を尊重して、 亡くなる数日前まで普通の生活を送られ、 前日に訪問入浴、 その後ご家族に見守られながら静かに逝かれた。 本人がもうこれで良いと決めておられたように思う。 曾師の方々は、 重度の介護が必要であり、 医療依存度の高い方ばかりである。 それだけに介護の技術と医療的なセンスが求められる。 また、 風呂台所の水回りが床下から破損していたために、 床の張替えとともにバルコニーの改修も併せて行った。(日本財団助成)</p>
	<p>かあさんの家・霧島 入居者： 6 名 平均介護度 4. 7</p>	<p><u>☆かあさんの家・霧島</u> 看取り数： 1 名、 新たな入居者： 0 名 神経難病 2 名、 胃瘻 3 名、 気管カニューレ 1 名 H さんは病院から転院してこられた当時は昼夜問わず頻回な訴えの多い方だった。 トランプが大好きで、 神経衰弱はスタッフを負かすほどの腕前。 最期は娘、 嫁、 孫、 ひ孫に見守られにぎやかな笑い声の中で旅立たれた。 家族のかかわりが深く、 ほぼ毎日食事介助や見守り、 仕事終わりに夜に見舞う方など。 介護が重度の方も多く、 スタッフの忙しさを見かねて、 ご家族が洗濯物を干したりと援助してくださっている。 家族同士がまるで疑似家族のように亡くなってからも交流を続けておられる。</p>


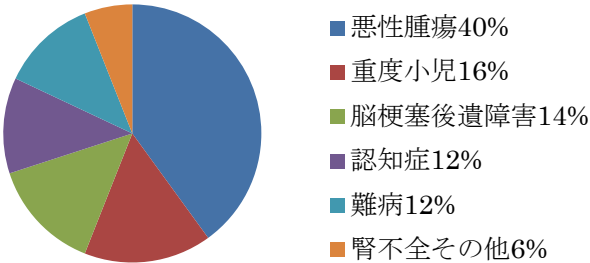
事業	事業概要	事業内容と実績
かあさんの家	<p>かあさんの家・櫛 入居者： 6 名 平均介護度 4.3</p>	<p><u>☆かあさんの家・櫛</u> 看取り数：1名、新入居者： 3名 認知症の人に対するケアと、不意に立ち上がり転倒予防のケアが重要でした。リスクに対しては、迅速に対応し家族に説明し、何度もスタッフ間のケアの共有のためにカンファを開いた。 スタッフの入院など介護職数の不足のため、研修生の働きに助けられた。</p>
	<p>かあさんの家・月見ヶ丘 入居者：5名 平均介護度 4.4</p>	<p><u>☆かあさんの家・月見ヶ丘</u> 看取り数：0名、新入居者：0名 神経難病、摂食嚥下障害、認知症などで、医療的にもI V H、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が求められ、重度介護が必要であるが、スタッフも住人も家族も、みんな明るく笑いが絶えない。また、台所と風呂の位置を入れ替えて、居間にいるかたがたを常に見守れる配置に住宅改修した。耐震工事も含めて、快適な空間となった。</p>
	<p>家族会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・お花見 ・お誕生会 ・ボランティア 	<p><u>◎お花見家族交流会</u> 期日：2015年5月10日（日） 会場：フローランテ宮崎 参加者：入居者14名 ご家族25名 スタッフ21名 ボランティア1名 合計 61名</p> 

事業	事業概要	事業内容と実績
かあさんの家	<p>研修生の受け入れ</p> <p>団体数 5 団体</p> <p>研修生 合計 27 名</p> <p>受け入れ延べ日数 124 日</p>	<p>◎お誕生会</p> <p>それぞれのお誕生会をご家族に積極的にかかわっていただくようにした。それぞれに工夫されて、ホームパーティになっている。</p> <p>◎かあさんの家除草（庭掃除）ボランティア</p> <p>檜の庭の手入れをご家族の方が剪定も含めてやってくださって、季節の花々も楽しめるようにと心を配ってくださっている。</p> <p>◎受賞記念パーティへの参加</p> <p>期日：2016年2月13日 会場：ホテルニューウエルシティ 参加者：130名「家族会 15名、スタッフ 10名、ホームホスピス宮崎5名 訪問看護4名、ボランティア 13名、その他 主治医、行政、関係事業所等</p> <p>◎研修生の受け入れ</p> <p>研修医や看護学生の研修や実習などを受け入れた。</p> <p>本年度も引き続き神奈川県平塚共済病院からの研修医2年目のドクターを毎月1名、城山病院の地域医療研修の一環として受け入れた。また、宮崎大学医学部医学科2年生の研修が始まり、医学教育推進の一助を担うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平塚共済病院医師臨床研修医（城山病院より依頼） 5月～2月 【7名の医師】 ・宮崎大学医学部医学科2年学外早期体験実習 8月17日～8月20日 【4名】 8月24日～8月27日 【4名】 ・宮崎大学医学部看護学科4年総合実習 6月12日～7月31日 【3名】 ・日本赤十字看護大学・4年総合研修 5月25日～6月5日 【1名】 ・宮崎県職員研修（自治学院）10月26日～29日 【8名】

4) 医療・介護保険事業

事業	事業概要	事業内容と実績
訪問介護ステーションぱりおん	<p>★管理者：甲斐昌江</p> <p>★サービス提供責任者： 薬師寺恵 甲斐昌江 荒川久美子</p> <p>★スタッフ：23名 (内リーダー研修3名) (平成28年3月31日現在) 介護福祉士12名 甲斐昌江、荒川久美子、 薬師寺恵、矢野多津子、 堀美和子、川越和子(准看)、 日高静佳(准看)、金子晃子、 里脇希実子、黒原愛子、 北村和美、馬場一樹 介護職員基礎研修受講：1名 松山純子 ヘルパー1級：2名 松山和世、久保野イツ子 (看護師) ヘルパー2級：8名 湯浅たか子、太田幸、 清水妙子、永田加代、 前田なつ、深井まゆみ、 二宮淳、国方光代</p>	<p>月1回定例でスタッフ研修を行っている。また、住人の受け入れや症状の変化に応じて、スタッフ会議を臨機応変に行っている。医療との連携では、主任が中心になって報告連絡を欠かさないようにしている。</p> <p>体調を壊して入院するスタッフもあり、そのために、シフト調整を工夫しながらの日々であった。</p> <p>【内部研修】</p> <p>①各「かあさんの家」カンファランス(毎月1回) 状況の変化に応じ速やかに事例検討会を行っている。</p> <p>②定例スタッフ研修(毎月第4水曜日)</p> <p>4/23 現任教育(ホームホスピスの理念及び概念について) 講師：理事長 市原美穂</p> <p>5/28 感染症予防について 講師：認定看護師 長内さゆり</p> <p>6/23 防火訓練(職場を守る防火管理について) ビデオ鑑賞</p> <p>7/3 暑気はらいをかねて上半期の振り返り、夏期手当支給</p> <p>8/25 ユマニチュードについて ビデオ鑑賞後現場振り返り</p> <p>9/28 排泄ケア「うんこ・しっこの話」 講師：榊原千秋</p> <p>10/22 「報告・連絡・相談」の基本研修 講師：主任介護支援専門員 祐末めぐみ</p> <p>11/26 「介護技術」 講師：ハーモニーライフサポート代表 増田登賜隆 「胃ろう管理について」 認定看護師 堤 育子</p> <p>1/28 「自己分析」スタッフ全員</p> <p>2/25 作業手順書作成 講師：主任介護支援専門員 祐末めぐみ</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
訪問介護ステーションぱりおん	<p>外部研修 講座数：13回 延べ参加人数：58名</p>	<p>【外部研修】 4月 新任研修 5月30日 在宅を支える多職種交流会（4名） 7月 喀痰吸引研修（3名） 8月28・29日 ナイチンゲールKOMIセミナー（3名） 9月25・26日 ナイチンゲールKOMIセミナー（3名） 12月5・6日 ホームホスピス全国合同研修会・熊本（14名） 1月27日 介護技術の基本（労働安定センター主催） 1月～3月 介護労働安定センター主催 4回連続講座「介護技術講習会」 （基本編、更衣・身だしなみ、排泄ケア、応用編） （延べ16名） 2月1日～3月21日 喀痰吸引研修（6名） 2月6日 四連絡協議会（宮崎市主催）（4名） 3月23日 介護従事者現任研修 3月 宮崎市介護従事者現任研修（4名） 3月 雇用管理責任者研修（2名）</p>
居宅介護支援事業所ぱりおん	<p>管理者：早川 真由美 祐末めぐみ 担当数：38件 年間実績延べ件数： 388件 在宅看取り人数：9名 介護支援事業所の管理者として増員。</p>	<p>介護度1・・・5名 2・・・4名 3・・・2名 4・・・6名 5・・・17名 （平成28年3月31日現在） 要支援1・・・2名 要支援2・・・2名 特定疾患の難病が4名、経管栄養や医療依存度の高い方が11名、約65%が介護度の重度な方である。</p>
訪問看護ステーションぱりおん	<p>管理者：長内さゆり （～平成27年10月） ：堤 育子 （平成27年11月～） （看護師）中村美佐子、 雲山良子・白波さおり （理学療法士）川島小代子</p>	<p>☆利用者数 4月（18名）、5月（16名）、6月（20名）、7月（19名）、 8月（23名）、9月（20名）、10月（21名）、11月（22名）、 12月（25名）、平成28年1月（30名）、2月（28名）、 3月（28名）</p>  <p>■ 医療保険62% ■ 介護保険38%</p>


事業	事業概要	事業内容と実績
訪問看護ステーションぱりおん	<p>担当数：63 件 年間実績 利用者数：延べ 2921 名 延べ訪問回数：2921 回</p> <p>外部講師派遣：11 団体 (別紙参照) 外部研修参加 延べ人数 14 名</p> <p>日本財団 訪問車助成</p> 	<p>☆利用者病名</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 悪性腫瘍40% ■ 重度小児16% ■ 脳梗塞後遺障害14% ■ 認知症12% ■ 難病12% ■ 腎不全その他6% <p>☆看取り 在宅:19 名、グループホーム:2 名、病院死亡：6 名 かあさんの家：2 名、有料老人ホーム:2 名 <u>計 31 名</u></p> <p><u>研修参加</u> 5/21 宮崎キュアケアネット（堤、中村、白波） 6 月～11 月 訪問看護研修STEP 1（白波、中村） 11/7 訪問看護サミット・東京（堤、中村） 12/5～6 全国ホームホスピス合同研修会・熊本（長内、堤、雲山） 2/7 喀たん吸引実務者研修（堤、雲山、白波、中村）</p> <p><u>研修生受入れ</u> 9 月 熊本大学専門看護師研修 2 名（2 週間） 9 月 宮崎県看護協会ステップ 1 研修 2 名（1 週間）</p> <p>日本財団より訪問看護車助成 日本財団の福祉車両の助成は狭き門である。車いす対応のワゴン車は、かあさんの家の方々の送迎に活躍している。そして、訪問看護車の助成を申請した。かわいい車が加わった。</p> <p>*年度途中で、管理者の長内さゆりさんが家庭の事情で訪問看護の仕事からHHMの研修・研究部門配属となった。後を引き継いだ堤育子さん以下3名で、ぱりおんの運営の基盤づくりに奔走している。長内さゆりさんは、3月末HHM退職とし、札幌医療保健大学「在宅看護」の教員に転身された。札幌は長内さんの故郷でもあり、新しいチャレンジと今後の活躍に応援をおくりたい。</p>

5) ホームホスピス推進研修センター事業

事業	事業概要	事業内容と実績
日本財団・在宅ホスピス実践リーダー養成研修	<p>日本財団 在宅ホスピスケア実践リーダー養成 研修担当： 久保野イツ子 祐未めぐみ</p> <p>研修生： 3地域から3名 他のホームホスピスの 研修生の短期受け入れ 1名</p>	<p>【目的】 看取りを含む質の高い在宅ホスピスケアを行う専門職の養成</p> <p>【内容】 研修受け入れ機関として、ホームホスピスカあさんの家において、現場中心のホスピスケア・看取りの実地研修を6か月間にわたり行う。</p> <p>【研修者】 看護師・介護福祉士・ケアマネジャーなどの専門職であること。</p> <p>【支援内容】 ・研修生の生活費補助（無給の場合）と受け入れ機関の研修費用が助成される。原則として研修者1名あたり45万円/月</p> <p>☆津山千鶴子（ヘルパー2級） H27・3/2～8/28 宮崎県小林市</p> <p>☆馬場一樹（介護福祉士） H27・10/1～H28・3/31 長野県飯山市</p> <p>☆北村和美（介護福祉士） H28・1/12～7/11 石川県小松市</p> <p>★富田真紀子（看護師） H27・6/1～6/26 尼崎のホームホスピス愛逢の家より短期 東京都中野区</p> <p>★印は、他のホームホスピス研修者</p> <div data-bbox="1034 904 1422 1173" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1034 1218 1422 1464" data-label="Image"> </div>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ホームホスピス推進委員会</p>	<p>ホームホスピス推進委員会 推進委員： 市原美穂、松本京子 兼行栄子、竹熊千晶 樋口恵子、古野たづ子 顧問： 高橋紘士、岡本峰子 秋山正子、大熊由紀子 委員は、5つのホームホ スピス運営者で構成し、 顧問として、高橋紘士先 生、大熊由紀子先生、岡 本峰子さん、古野たづ子 さんをメンバーに、これか らのホームホスピスのあり ようを決めていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商標登録 ・ホームホスピスの基準 ・全国組織の設立 ・人材養成とリーダー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に広がっているホームホスピスケアの基準を作って、質の向上を図ることが必要になってきた。機会があるごとに時間を作って、検討を重ねた。このことで、より一層ホームホスピスのケアの重要性を認識することができた。 ・全国組織にすることを検討。 ・ホームホスピスの基準制定に向けてのミーティングを重ねる。① <p>期日：平成27年3月9日 場所：コテージひむか(宮崎市)</p> <p>②期日：平成27年4月24日 場所：平山温泉(久留米市)</p> <p>③期日：平成27年6月8日</p> <p>場所：アサンテ事務所(神戸市)</p> <p>基準作りのために、それぞれの時間を調整しつつ議論を重ねた。このことが、お互いのケアの現場での課題や、こうあったらいいなという目標などを、共有することができた。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">一般社団法人全国ホームホスピス協会</p>	<p>平成27年8月10日認証 (平成27年9月30日期末) 主たる事務所を宮崎市恒 久2丁目19番6号におく。</p>	<p>平成26年度第1回理事会 期日：平成27年8月30日 場所：高齢者住宅財団本部事務所(東京都)</p> <p>理事会の選出を行い、年間計画を立てる 理事：◎市原美穂、○松本京子、竹熊千晶、兼行栄子、 樋口千恵子、高橋紘士、 監事：岡本峰子</p> <p>第2回理事会 期日：平成27年9月3日 場所：九州大学西新プラザ(福岡市)</p> <p>平成28年度の事業計画及び予算書</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
一 般 社 団 法 人 全 国 ホ ー ム ホ ス ピ ス 協 会	<p><u>設立時理事</u></p> <p>・市原美穂、松本京子、竹熊千晶、兼行栄子、樋口千恵子</p> <p><u>設立時監事</u></p> <p>・岡本峰子</p> <p><u>設立時社員</u></p> <p>・市原美穂、松本京子、竹熊千晶、兼行栄子、樋口千恵子、岡本峰子、古野たづ子</p> <p><u>手続き委託</u> (松田共同法律事務所)</p> <p>全国ホームホスピス 合同研修会</p> <p>期日: 1日目:12月5(土) 1泊2日宿泊研修 会場:熊本保健科学大学</p> <p>2日目:12月6日(日) 会場:熊本KKRホテル</p>	<p>平成27年度第1回理事会 期日:平成27年12月4日 場所:熊本保健科学大学(熊本市) 総会について</p> <p>第2回理事会 期日:平成28年1月22日 場所:九州大学西新プラザ(福岡市) レビューについて</p> <p>第3回理事会 期日:平成28年4月11日 場所:なごみカフェ(神戸市) 全国ホームホスピス研修会について 理事に園田眞理子氏を推薦、承認 事務局長に黒岩雄二氏を承認</p> <p>第4回全国ホームホスピス合同研修会in熊本 オープニング:たんがくを応援する会及び美婆会の方々 基調講演:金井 一薫(KOMI理論提唱者) 「ナイチンゲールからのメッセージ」 基調講演:米沢 慧氏(評論家・思想家) 「ホスピスの源流をたどる」 鼎談:金井一薫&米沢慧&市原美穂 教育講演:辺見 聡(厚労省老健局高齢者支援課長) 「高齢期における尊厳ある暮らし」 座長まとめ:高橋紘士(高齢者住宅財団理事長) 研修:ホームホスピスの基準について 市原美穂</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
一般社団法人全国ホームホスピス協会	<p>新しく開設された ホームホスピス</p> <p>4月 ホームホスピスみよしの家 (愛知県みよし市)</p> <p>ぬくもりの家・花花 (兵庫県淡路市)</p> <p>ホームホスピスみぎわ (奈良県大和郡山市)</p> <p>6月 くららの家 (秋田県秋田市)</p>	<p>日本財団リーダー養成研修を修了した方々が、新しくホームホスピスを全国で開設している。</p>  <p>秋田市の「くららの家」を訪ねる。</p>

6) 情報・広報活動

①ニュース発行及びパンフレット

ニュースレター 20号・・・6/13 発行

暮らしの保健室だより・・・毎月初めに発行(12回)

《ホームページ》

<http://www.npo-hhm.jp/>

《ブログ》より熊本地震[2016年04月18日(Mon)]

熊本県をはじめ、地震で被害に遭われた皆様、心よりお見舞い申し上げます。

また、「宮崎県は大丈夫ですか」とお電話くださった皆様、ご心配いただき、感謝申し上げます。

宮崎市内は、週末まで体に感じる余震もありましたが大丈夫です。

熊本県には、私たちの仲間「ホームホスピスわれもこう」があります。

全員無事との連絡がきておりますが、物資の不足もあるとのこと。

現在、道路が寸断されていたり、渋滞もひどいこともあり、

直接的な支援が難しい状況ではありますが、力になるべく準備を進めております。

窓口は、全国ホームホスピス協会事務局です。

不慣れなためリンクさせることができませんが、

全国ホームホスピス協会 facebook を検索してください。



マスコミなどの紹介

《新聞・ラジオ》

2015.7.29 宮崎日日新聞

2015.9.18 毎日新聞

2015.11.15 宮崎日日新聞

2015.11 朝日新聞

2015.12.10 西日本新聞

2015.12.26 南日本新聞

2016.1.28 朝日新聞

2016.2.18 日本経済新聞

《雑誌などの掲載の雑誌名》

2015.5② ケアリング

2015.6 みやざき介護ナビ・おひさま

2015.7 医療と介護 Next No.4

2015.8 週刊東洋経済

2015.9 週刊朝日 MOOK 高齢者ホーム

2015.1 0MOKU

2016.1 0→100 在宅新療

②講演・講師派遣

市原（I）、久保野（K）、祐末（S）、長内（O）、堤（T）

月	日	講演		I 市原 K 久保野 O 長内 T 堤 S 祐末
4月	2	平成27年度特別支援学校医療的ケア看護師研修会	宮崎市	T
	11	訪問看護ステーション連絡協議会管理者会	宮崎市	O
5月	1, 8, 15, 22	宮崎看護専門学校 (医師会) 在宅看護論講義	宮崎市	O
	9	宮崎県老人施設協議会看護介護部会研修会	宮崎市	I
	23	宮崎緩和ケア関連CNS・CNの会	宮崎市	O
	29	宮崎看護専門学校	宮崎市	T
6月	5, 10, 19, 26	宮崎看護専門学校 (医師会) 在宅看護論講義	宮崎市	O
	7	関西ホームホスピス研修会	兵庫県	I
	16	宮崎大学医学部看護学科 講義	宮崎市	O
	17~ 11/26	日南看護専門学校 在宅看護論	日南市	T
	25	介護労働安定センター	宮崎市	IS
	28	かあさんの家 内部研修(感染予防について)	宮崎市	O

7月	4	日本看護福祉学術大会（シンポジスト）	福岡県	I
	9	宮崎市工業会総会	宮崎市	I
	19	日本ホスピス緩和ケア協会	東京都	I
	25	在宅医療推進協議会	宮崎市	0
	29	宮崎県人権同和対策課 幹部職員等研修（都城）	都城市	I
8月	3	福岡県看護協会 退院支援講習会	福岡県	0
	7	宮崎県人権同和対策課 幹部職員等研修（宮崎）	宮崎市	I
	7	平成27年度特別支援学校医療的ケア実施教員研修	宮崎市	T
	22	赤江地区退職校長会	宮崎市	I
	28	広島県看護協会	広島市	0
	29	日本ホスピス在宅ケア研究会	神奈川県	I
9月	3, 9 16, 30	宮崎看護専門学校（医師会）	宮崎市	0
	5	宮崎大学医学部緩和ケア研修会	宮崎市	0
	6	平成27年度教育研修	宮崎市	T
	12	がん看護研究会	宮崎市	T
	12	日本褥瘡学会 宮崎県支部主催	宮崎市	0
	22, 23	日本在宅ホスピス協会	鹿児島県	I
10月	2-3	ELNEC-J	宮崎市	0
	3	第55回全国国保地域医療学会シンポジウム	埼玉県	I
	4	日本地域医療研究会全国大会	大阪府	0
	6	孤立死防止セミナー	宮崎市	本田 （看取り寄り添いナース）
	7	宮崎看護専門学校（医師会）	宮崎市	0
	8	訪問看護師養成講習会Step2	宮崎市	0
	10	オールジャパンケアコンテスト審査員	鳥取県	I
	11	日本専門看護師協議会地域・在宅看護分野スキルアップ研修会	宮崎市	0
	14, 19	介護労働安定センター 医療的ケア	宮崎市	0
	16	地域連携看護専門看護コース企画（公開講座 看護職員研修会）	延岡市	T
	24	第6回市民フォーラム（都城市ウェルネス交流プラザ）	都城市	I
	25	関西看護出版主催 2024年を見据えて地域包括ケアを考える	東京都	0
	26, 28	介護労働講習（介護労働安定センター）	宮崎市	T
	31	在宅看取りを伴う在宅医療推進のための研修会	日南市	I
11月	1	関西看護出版主催 2025年を見据えて地域包括ケアを考える	兵庫県	0
	8	在宅医療推進フォーラム 一ツ橋大学	東京都	I
	7	平成27年度集中セミナー「在宅ケア研究セミナー」 訪問看護等在宅ケア研究助成採択者発表	東京都	T
	11	宮崎市退職校長会理事会	宮崎市	I
	12	芸術学舎	東京都	I
	12, 26	日南看護専門学校（在宅看護 呼吸器ケア）	日南市	0

11月	17	宮崎県看護大学 講義	宮崎市	I
	21	宮崎緩和ケア関連CNS・CNの会	都城市	0
	21	在宅看護学示説発表	東京都	T
	22	第48期日本薬剤師会学術大会	鹿児島県	I
	28	岡崎市介護サービス事業者連絡協議会	愛知県	I
	29	伊勢市 市民公開講演会	三重県	I
	29	関西看護出版主催2025年を見据えて地域包括ケアを考える	福岡県	0
12月	2	在宅医療・介護の従事者向け研修会	鹿児島県	I
	6	全国ホームホスピス合同研修会	熊本県	I
	10	クオラグループ職員研修	鹿児島県	I
	11.12	退院支援研修 演習支援	宮崎市	0
	13	関西看護出版主催 2025年を見据えて地域包括ケアを考える	愛知県	0
	14	宮崎県医師会在宅医療機器シミュレーター会議	宮崎市	0
	19	日本社会事業大学	東京都	I
1月	9	宮崎緩和ケア関連CNS・CNの会主催リンパ浮腫研修会	都城市	0
	16	地域包括医療・ケア研修会	東京都	K
	26	介護労働安定センター喀痰吸引等研修(教員研修)	宮崎市	0
2月	7	平成26年度教育研修	宮崎市	T
	4	宮崎県在宅ケア推進委員会	宮崎市	0
	10	宮崎県看護協会専門・認定看護師の会	宮崎市	0
	26	喀痰吸引等研修	宮崎市	0
	27	訪問看護認定看護師協議会九州ブロック	福岡県	T
	28	日本死の臨床研・関西支部	滋賀県	I
3月	7	宮崎県医師会 主治医意見書の書き方 訪問看護師の立場から	宮崎市	0
	8	喀痰吸引等研修	宮崎市	0
	13	宮崎県医師会緩和ケアチーム研修会	宮崎市	T
		がん研究振興財団	東京都	I
	16	介護労働安定センター	宮崎市	S
	17	岐阜県国保連診療施設協議会	岐阜県	I
合計	78		市原	28
			久保野	1
			長内	33
			堤	13
			祐末	2
			本田	1

見学者受け入れ

月	日	曜	見学者名		人数	
4月	3	金	FCCネットワーク 川原	福岡県	7	
	6	月	森 あゆみ	東京都	1	看護師
			宮崎市保健所	宮崎市	7	
	10	金	ひむか苑	宮崎市	1	
	16	木	福岡県苅田町議会議員	福岡県	4	
	21	火	富家	熊本県	2	作業療法士
	22	水	月脚	綾町	2	
25	土	野崎	福岡県	2	看護師	
5月	12	火	野沢	神奈川県	2	
	22	金	訪問看護ステーションさくら	滋賀県	2	
6月	3	水	宮崎大学医学部看護学科3年次学生	宮崎市	5	
			日南看護専門学校(赤江北地域包括支援センター)	宮崎市	2	
	24	水	藍ちゃんの家		5	
	26	金	玉水会病院	鹿児島県	5	
	27	土	岡病院 豊寿苑	大分県	5	
7月	2	金	新津ふみ子	東京都	1	
	10	金	大塚台民生委員	宮崎市	11	
	21	火	片山	京都府	1	
	28		宮崎大学医学部～タイより看護学生～	宮崎市	4	
	22	水	渡辺	兵庫県	1	
8月	10	月	二上訪問看護ステーション	奈良県	2	
			西原	福岡県	2	
	19	水	杵築中央病院	大分県	3	
	19	水		宮崎市	2	
	21	金	宇治市役所健康生きがい課	京都府	4	
	24	月	鹿児島県肝付町	鹿児島県	7	
27	木	白山の里	岩手県	4		
		株)キュアコネクト	鹿児島県	4		
9月	2	水	森屋	宮崎市	1	看護師
	5	土	大和村診療所	鹿児島県	1	医師
	8	火	有限会社多幸会	沖縄県	2	介護
	16	水	野口 博美	神奈川県	1	看護師
	17	木	杵築中央病院	大分県	1	
	30	水	首都大学東京	東京都	2	取材

10月	16	金	鐘ヶ江	佐賀県	4	
	26	月	牧丘病院	山梨県	6	
	27	火	佐賀県訪問看護ステーション	佐賀県	1	
11月	1	日	五反田医院	福岡県	1	
	4	水	(株)シロガネフォレスト	鹿児島県	2	
	18	水	福井英夫	大阪府	2	
	25	水	佐土原町傾聴ボランティア	宮崎市	8	
12月	7	月	札幌クリニック	北海道	1	
			かんの	福島県	1	ホームホスピスくろみ
	11	金	札幌市議会議員	北海道	2	自民党
	14	月	福祉医療機構(WAM)	東京都	3	
			明治安田生活福祉研究所	東京都	2	
	15	火	シーズ	東京都	2	
	16	水	(株)映学社	東京都	1	
	17	木	まろんの家	広島県	2	
25	金	岡本郁美	宮崎市	1		
26	土	大久保まき	東京都	1	朝日新聞	
1月	5	火	訪問看護ステーションみなみ		1	
	11	月	がんサポート鹿児島	鹿児島県	10	
	28	木	清水	大阪府	1	
	29	金	特定非営利活動法人 地域福祉活動支援協会人間大好き 渡邊 壽江	広島県	1	
2月	7	日	金丸先生	美郷町	2	
	18	金	医療法人秀峰会川村病院	静岡県富士市	2	
	22	月	鹿児島国際大学福祉社会学部 社会福祉学科介護福祉コース	鹿児島県	9	
	28	日	菅納	東京都	1	
	26	金	東京医療保健大学	東京都	1	
3月	1	火	宇都宮啓(厚労省)	東京都	2	
	2	水	榎間	千葉県	2	
	6	日	医療法人社団都会 渡辺西賀茂診療所	京都府	6	
	11	金	半澤	北海道	2	
			高橋卓志(僧侶)	長野県	1	
			日本社会事業大学 鶴岡浩樹 他大学院生	東京都他	10	
	15	火	水野	福岡県	2	
	22	水	田嶋真紀	神奈川県	1	
	23	水	福島県議会議員 川田	福島県	1	
23,24	水	ネオメディカル	北海道	3		
合 計			70団体	人数	204	

7) 組織運営

①理事会・総会

・理事会は、下記のように開催した。

日時：平成26年度 第4回理事会 5月15日・・・総会の議題案・定款変更
平成27年度 第1回理事会 6月17日・・・理事長選任
第2回理事会 6月24日・・・定款変更に伴う平成28年度事業計画及び収支予算
第3回理事会 8月11日・・・在宅ホスピス拠点整備工事事業者の選定
第4回理事会 3月30日・・・平成28年度予算案、事業計画案

場所：暮らしの保健室

・総会は下記のように開催した。

定時総会 平成27年5月29日（木）午後7時から8時半
於いて・暮らしの保健室

これまで、市民プラザを借りて行っていたが、今年から暮らしの保健室にて総会を行うことができるようになった。

また、認定NPO法人としての総会の在り方も再検討した。これまで、次年度の実業計画及び予算も含めて総会の議事であった。これでは、4月1日から総会開催日までの予算執行があやふやであることなどを踏まえて、3月31日《前年度末》までに理事会を開催し、そこでの決定事項となった。よって、総会の議案は、事業報告及び決算となり、事業計画及び予算書は、総会の報告事項とした。

また、正会員は議決権があるが、賛助会員は、総会にオブザーバー参加できる。

・会員

正会員 26 名 賛助会員 55 名 団体会員 2 団体

②事務局

・事務局会議

月初めに事務局会議を開催することとしていたが、祝賀会などの打ち合わせと兼なり、定例で行うことができなかった。やはり、事務局としての連絡事項などがお互いに共有できなかったりしたので、これは、反省点である。

開催日：4/8, 5/25, 8/6

参加者：市原美穂、久保野イツ子、黒岩雄二、祐末めぐみ、甲斐昌江、立川志乃、岡田瑞穂、久保野郁美、堤育子、長内さゆり（訪問看護STより）

それに代わって、

- ・ころゆるゆるコンサート実行委員会・・・7/22、8/6、9/4、9/11、9/15（計5回）
- ・まちづくりフォーラム実行委員会・・・10/4、10/23、10/28、11/9、（計4回）
- ・受賞祝賀会実行委員会・・・1/5、1/19、1/27、2/3、2/7、2/8、2/9、2/10（計8回）その時々のある関係の方々に声をかけた。そこに、事務局会議メンバーが主となって加わった開催であった。

《事務局体制》 岡田瑞穂、久保野郁美（平成27年10月より産休）、岩切知峰（平成27年9月より）
久保野郁美さんが、第2子出産のために産休となった。
岩切さんをお願いして、強力な助っ人を得た。

保健文化賞・毎日社会福祉顕彰 受賞記念祝賀会

本年度は思いもかけず保健文化賞及び毎日社会福祉顕彰を受賞し、その祝賀会を行った。宮崎県河野知事もご出席いただき、昨年度のかあさんの家10周年祝賀会の経験を生かして、来ていただいた方々と喜びを共有するような厳粛でも楽しい会となった。

日時：平成28年2月13日（土）午後6時から午後9時

会場：ホテルニューウェルシティ宮崎（宮崎市宮崎駅東1丁目2-8 ☎0985-23-3311）

会費：10,000円（会費制）*会費は10,000円とし、お祝い金などをお断りした。

式次第：オープニングコンサート（東由子ソプラノコンサート）

ご挨拶・祝宴・HHMのあゆみと活動紹介

招待者：宮崎県知事、宮崎市長、毎日新聞宮崎支局長、第一生命宮崎支局長

参加のご案内を出した方は、旧理事やこれまでにお世話になった講師の先生方、かあさんの家で看取ったご遺族、ネットワークしている医療機関、介護事業所と関係者、全国のホームホスピス関係者、日本財団と、スタッフ全員（夜勤者除く）、ホームホスピス研修生他

合計 130 名

実行委員会を8回実施し、会費や内容について検討した。昨年と同じ会場を早めに予約した。理事の内田さんの尽力による。昨年は、かあさんの家のスタッフ全員でサプライズ参加のフラダンスを披露したが、今年は、スタッフでHHM楽団を結成し、それに合わせてスタッフ、理事と一緒に「365日の紙飛行機」をうたった。最後に会場に舞った色とりどりの紙飛行機に歓声が上がった。





活動計算書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

収入の部	27 年予算額	27 年度決算額	決算差額	備 考
1、NPO活動事業収入の部				
会費収入	300,000	518,000	218,000	正 26 × 10000・賛助 55 人 66 口 × 3,000 団体 2 × 30,000
講座収入	1,055,000	1,544,200	489,200	喀痰吸引研修・各講座
委託事業収入	920,000	920,000	0	ふらっとカフェ・がんサポーター養成
寄付金収入	2,500,000	6,876,240	4,376,240	113件
助成金収入	2,000,000	2,300,000	300,000	日本財団(運営強化)2,000,000 勇美財団(10周年)300,000
ケアサロン活動費収入	288,000	178,600	△ 109,400	
研修・実習費収入	8,200,000	5,790,500	△ 2,409,500	日本財団(リーダー養成)2,700,000 × 2 名他 (医学生・看護学生・宮崎県自治学会)
その他の収入	3,000,000	5,652,148	2,652,148	講師収入 1,522,352・見学科 133,000 受賞記念パーティ 972,000、賞金 300 万
小計	18,263,000	23,779,688	5,516,688	
2、かあさんの家事業収入				
介護保険収入	55,000,000	60,329,929	5,329,929	介護保険・居宅・処遇改善・一割
管理費収入	32,500,000	32,544,822	44,822	食材・生活支援・共益費・居室費
補助金収入	1,740,000	1,740,000	0	宮崎市地域ホスピス補助事業
助成金収入	6,000,000	10,250,000	4,250,000	日本財団(拠点整備)月見ヶ丘・管師改築
小計	95,240,000	104,864,751	9,624,751	
3、訪問看護事業収入				
医療介護保険収入	18,000,000	24,869,848	6,869,848	医療保険・介護保険 2・3 月未収金
助成金収入		430,000	430,000	日本財団(車両運搬具)430,000
小計	18,000,000	25,299,848	7,299,848	
3、その他の収入				
助成金収入	0	0	0	
雑収入	2,300,000	2,899,141	599,141	本販売・衛生・介護物販・その他
受け取り利息	1,000	1,449	449	
小計	2,301,000	2,900,590	599,590	
当期事業収入合計(A)	133,804,000	156,844,877	23,040,877	
4 事業外収入				
借入金収入	0			
正味財産			0	
当期事業外収入合計(B)		0		
当期収入総計	133,804,000	156,844,877	23,040,877	

支出の部	27年予算額	27年度決算額	決算差額	備考
1、NPO活動事業支出				
①本部活動支出				
理事報酬	2,760,000	2,760,000	0	市原 1,200,000・久保野 960,000・立川 600,000
講座講演経費	2,000,000	2,738,869	738,869	喀痰吸引・がんカウンセラー養成 聞き書き・講座講演経費他
その他経費	3,800,000	3,099,739	△ 700,261	本仕入・印刷経費・ボランティア活動費・サロ活動費・旅 費交通費・研修費・通信費・会議費・祝賀会他
小計	8,560,000	8,598,608	38,608	
②事務管理費支出				
人件費	4,218,000	6,677,761	2,459,761	事務局2名他(社会保険・福利厚生費含)
通常経費	6,500,000	6,762,945	262,945	通信費・租税公課・水道光熱費・駐車場・備品事務消耗品費・ 支払利息・雑費他、研修費、リース料、家賃
その他の経費	1,510,000	466,344	△ 1,043,656	社労他
小計	12,228,000	13,907,050	1,679,050	
2、かあさんの家事業支出				
人件費	76,600,000	70,997,369	△ 5,602,631	ぱりおんスタッフ・処遇改善手当・リーダー養成 他(社会保険・福利厚生費含)
管理諸経費	20,090,000	12,921,802	△ 7,168,198	住宅管理費・修繕費・食事管理費・諸経 費・共益費
その他経費	4,000,000	1,977,797	△ 2,022,203	慶弔費・車両経費・研修費・会議費・備品事務 消耗品費・接待交際費・諸会費・新聞図書費他
商品仕入れ	2,000,000	2,111,690	111,690	おむつ他衛生用品等
小計	102,690,000	88,008,658	△ 14,681,342	
3、訪問看護事業支出				
人件費	20,076,000	21,191,903	1,115,903	人件費(社会保険・福利厚生費 237,163 含)旅費交通費・研修費
通常経費	5,000,000	3,358,629	△ 1,641,371	慶弔費・車両経費・研修費・会議費・備品事務 消耗品費・接待交際費・諸会費・新聞図書費 他・通信費・備品事務消耗品費
小計	25,076,000	24,550,532	△ 525,468	
4、その他の資金支出				
固定資産圧縮損		10,680,000	10,250,000	日本財団拠点整備(曾師、月見ヶ丘改修工事)
その他の支出	5,000,000	3,240,138	3,240,138	減価償却費(建物・建物附属設備・構築 物・車両運搬具・器具備品・商標権)
予備費	9,000,000	0	△ 9,000,000	
小計	14,000,000	13,920,138	△ 79,862	
当期事業支出合計(C)	162,554,000	148,984,986	△ 13,569,014	
5 事業外支出				
借入返済引当金				
当期事業外支出合計(D)				
当期収支差額		7,859,891		
当期支出合計(E)	162,554,000	156,844,877	△ 5,709,123	

平成 27 年度財産目録

科 目 ・ 摘 要	金 額	金 額
I 資産の部		
I 流動資産		
現金	現金手許有高	30,116
小口現金	かあさんの家・ケアサロン・リーダー養成・県委託事業	5,823
普通預金	宮崎銀行 宮崎支店	599,112
	宮崎太陽銀行 南支店	4,160,974
	宮崎太陽銀行 城ヶ崎支店	16,527
	宮崎太陽銀行 南支店(ケアサロン)	0
	九州労働金庫	143,854
	郵貯振替 県庁支店	1,889,536
	宮崎太陽銀行 人材育成	1,913,557
	太陽銀行 謝金等	468,620
		9,192,180
未収入金	介護報酬・訪問看護収入(2月・3月分)	14,365,572
入居未収入金	かあさんの家	3,575,247
訪問看護未収入金	訪問看護	640,579
		18,581,398
貯蔵品	介護用品・本	422,701
		422,701
立替金	入居者医療費・薬代・ヘルパ [®] 研修費他	1,323,675
預託金	訪問看護自動車リサイクル料	9,060
		1,332,735
	流動資産合計	29,564,953
II 固定資産		
(有形固定資産)		
土地	宮崎市恒久 2 丁目 19-6	17,397,466
建物	恒久・かあさんの家曾師・月見ヶ丘改修	27,918,525
建物付属設備		4,914,584
構築物		3,152,382
車両運搬具		91,668
器具備品		48,206
		53,522,831
(無形固定資産)		
電話加入権		69,840
		69,840
(投資その他の資産)		
敷金		240,000
		240,000
	固定資産合計	53,832,671
III 繰延資産		
商標権		241,396
		241,396
	繰延資産合計	241,396
	資産合計	83,639,020

科目・摘要		金額	
I 負債の部			
I 流動負債			
未払金	曾師改修工事分 社会保険料・かあさんの家(水道光熱費等) 介護用品・介護食品・その他事務諸経費	2,701,873	
短期借入金	市原・太陽銀行	6,892,307	
預り金	社会保険料・個人市県民税・源泉所得税	559,659	
入居一時金	かあさんの家入居預り金	3,450,000	13,603,839
	流動負債合計		13,603,839
II 固定負債			
長期借入金			
	太陽銀行	15,101,000	
	久保野	500,000	15,601,000
	固定負債合計		15,601,000
	負債合計		29,204,839
	差引純財産		54,434,181

III 正味財産			
前期繰越正味財産		46,574,290	
当期正味財産増加額		7,859,891	
	次期繰越正味財産		54,434,181

平成 27 年度

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎 の会計を別紙のとおり決算いたしました。

平成 28 年 5 月 23 日

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎
理事長 市原 完徳

平成 27 年度

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎

会計監査報告

1. 監査実施年月日 平成 28 年 5 月 23 日
2. 業務執行の状況及び財産の状況 上記決算会計

平成 27 年度の上記決算の決算書、会計帳簿、預金通帳、領収書及び関係証拠書類を
閲覧し照会した結果、収支報告及び各帳簿は正確なく適正に執行処理されていることを
認め、真実であることを報告致します。

平成 28 年 5 月 23 日

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎

監事 堀越 昭代 
監事 吉村 一隆 
監事 弘中 信厚 

地域で応援してくださる方を増やし、 「宮崎をホスピスに」

認定 NPO 法人ホームホスピス宮崎

【団体概要】

都道府県：宮崎県

活動分野：地域医療・地域福祉

財政規模：約1億1,000万円（2014年度）

認定取得：2013年3月

団体ホームページ：<http://www.npo-hhm.jp/>

インタビュー対応：理事長 市原 美穂さん、理事 黒岩 雄二さん

■ホームホスピスを地域の風景に

稀で認知症の患者さんの居場所がなかったため、こうした方々の居場所をつくらねえという思いから、宮崎県内で在宅ホスピスを作ろうという勉強会から活動を始め、2004年に空いている民家を借りて「かあさんの家」を開業しました。現在では、かあさんの家の他にも、居宅介護支援事業や訪問看護とヘルパー・ステーション事業などを行っています。

かあさんの家を始めようとした頃、「高齢者を受け入れるホームホスピス」と聞くとなかなか貸してくれませんでした。やっとな借りられる物件が見つかり、最初に行ったことは周辺の住民への説明会でした。私たちのような活動は、周囲の方の理解が何よりも大切です。

ホームホスピスもそうですが、社会的なニーズに公共が追いついていないとき、必要なことを自ら実践していくことが NPO であると考えています。しかし、「お金が無い」というのも NPO の特徴であり、大きなネックです。認定を取得して、寄付を求め、活動が発展していくことで私たちの地域、社会が豊かになると思っています。

認定取得は 2013 年頃から検討していました。当時、遺贈の寄付を検討しているというご相談があり、これから寄付を受け入れていくためにも、控除があれば果敢とやすくなるのではないかと考え、認定を取得することにしました。ちょうどこの頃に、日本ファンドレイジング協会などで、ファンドレイジングについて勉強していたことも、認定取得のきっかけとなりました。

■地域で寄付の循環を

お礼金控等の贈与やチャリティコンサートなども積極的にを行っています。まだまだ寄付につながらないこともありますが、こうした活動を続けていくことで、私たちのことをNPO法人の区別がわからない方も多くいらっしゃると思いますので、まずはNPO法人について知ってもらわないと、寄付は集まらないと感じています。寄付者というよりも、まず応援して下さる方を増やしていくことが大切です。

また、ワンズリー・リポーター制度を創設し、毎月一定額を、おき金としてご寄付いただく仕組みも始めています。現状では、ワンズリー・リポーターは少ないですが、毎月引き落とされることで、自分が関わっているという感覚を持ってもらえるので、継続的な支援者になっていただくのに効果があると考えます。

個人以外では、医療法人からのご寄付もありますが、こちらから働きかけないとなかなかいただけません。こうしたご寄付の呼びかけも、内部での課題としてあります。

また、ボランティアでご参加されている方がおふくなりになり、ご遺族からご寄付をいただくこともありました。相続財産の寄付の優遇税制は、相続された一部を世の中へと出していくための制度です。私たちも活用していきたいと思っています。



があさんの家看板



黒岩 洋二さん(左) 戸原 榮穂さん(右)

2015年11月27日発行 第10号 2016年1月
2016年11月